

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

発行2014年2月 第70号
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティア
ネットワーク幹事会
TEL03-3383-7800

いま、わたしたちに、できること KOBE MEMORIAL 1.17 灯りのつどい

阪神淡路大震災から19年目を迎えました。あの惨事記憶を、忘れないで伝えていくメモリアルイベント「1.17 灯りのつどい」が、1月11日（土）東京国際フォーラム地上広場で開催され、東京都生協連と、コープ災害ボランティアネットワークのメンバーがボランティア参加しました。



防災エプロンを着て炊き出し用の釜で作業するCO 災ボのボランティアの皆さん



できあがったおしるこを、ボランティアの皆さんが手際よく盛り付けています。

東京都生協連のテントでは、ボランティアの訓練として炊き出しを行いました。大釜で30kg以上のあんを煮て、600食以上のおしるこを提供しました。



ガラスのキャンドルをみんなで並べてから点灯します。午後5時46分、犠牲者の冥福を祈りながら黙祷をさげました。

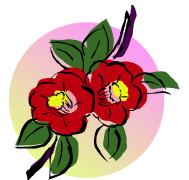
当日は、東日本大震災の被災者支援募金として9,488円が集まり、後日、東京災害ボランティアネットワークに贈呈しました。



東京の生協の被災地支援

三宅島への支援

2000年の三宅島噴火から、生協は支援物資をはじめ様々な形の災害支援を続けました。全島避難解除の2005年からは、東京災害ボランティアネットワークと「三宅島年末お掃除ボランティア」活動を続けています。今年度は荒天による定期船欠航のため11月29日からの1回だけが実施され、CO 災ボメンバーが1名参加しました。



伊豆大島土砂災害被災地支援

昨年11月から継続実施した支援活動は、12月21日でいったん終了しました。生協からのボランティア派遣はCO 災ボメンバーを含む53名におよびました。大島では現在も社会福祉協議会が呼びかけた島内ボランティアを中心に、床下の泥の除去や交流スペースの運営、お知らせチラシ配布などを行っています。

第13期災害ボランティア養成講座第4回

普通救急救命講習



1月25日、第13期の62名が普通救急救命講習を受講しました。CO 災ボ先輩メンバー8名も更新のために再受講しました。今回は受講者が多く、訓練用の人形10体と AED10台を順番に使って体験しました。いざという時に役立つためには、こういう講習を何回か受けて、忘れないように訓練しておきたいという感想（アンケート）を多くの参加者からいただきました。

胸骨圧迫と人工呼吸による心肺蘇生を体験

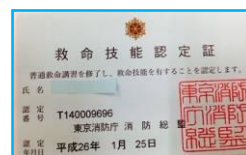


最低5cmは胸が沈むまで1分間に100回のテンポで続けます。



救急隊が到着するまで電源を切らないでお願いします。

AED（自動体外式除細動器）を使っの訓練



後日救命技能認定証が授与されます。

気道異物除去の方法



講師は東京防災救急協会の石塚さん。

★受講者の感想（アンケートより）

以前に講習を受けたが、忘れていた。繰り返しの訓練が必要だと思う。多くの人が訓練に参加すれば、多くの命が助かると思う。万が一助けられなくても罪に問われないと分り、積極的に取り組んでいきたい。野次馬で終わらないことが大切。周囲の人への声かけと協力も大切と分かった。AEDを使えば、胸骨圧迫は不要と思っていたが間違いと分り良かった。

東京での被災地支援



口コミとお知らせの掲示で少しずつ新たな参加者が増えてきました。被災地から避難してきた親子だけでなく、他地域から中野区に転居してきた新米ママの参加も増えてきています。1月は今までで一番多い16組の親子が来てくれました。被災地支援からはじめたわいわい広場が、親子でくつろげる場になってきています。ここでの交流をきっかけに、お母さんたちの自主的な集まりも計画されているようです。



親子で集まれ～！わいわい！広場！！

12月の三宅島年末お掃除ボランティア第1回は、残念ながら中止となってしまいました。何日も欠航が続いて、離島に暮らす生活の厳しさを考えさせられた出来事でした。（事務局）

